

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	環境生活部 環境生活総務課	氏名	高橋伸明
派遣先 団体名	特定非営利法人 もりふれ倶楽部		

## ① 研修の日時

7/8(日)里山自然塾(ふるさと森林公園)

8/5(日)里山自然塾(ふるさと森林公園)

8/25(土)飯南町研修

9/9(日)里山自然塾(ふるさと森林公園)

9/18(火)ツキノワグマ緩衝帯づくり

## ② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)

7/8(日)里山自然塾「竹は友達！竹筒で炊くりゾットづくりと竹のペーパーボックスの絵付けを楽しむ」

全国的に問題となっている竹林の拡大についての原因や竹の生態について学びました。また、竹筒でリゾットを炊き、竹を加工したペーパーボックスの絵付けをしました。

この日の参加者は25名で夏休みということもあり、親子での参加者が多くおられました。私は参加者の誘導や小さな子どもたちのサポートなど、イベントのお手伝いさせていただきました。参加者の方々が楽しみながら自然について学んでおられるというのが印象的でした。



8/5(日)里山自然塾(ふるさと森林公園)「大人も子どもも里山であそぼう！昆虫ゲット講座と水てっぽう、けん玉等世代を結ぶ竹おもちゃ講座」

参加者32名で里山での遊びを体験しました。里山に出てネイチャーガイドの方からいろいろなトラップや虫取り網を使っての昆虫の捕り方を学びました。また採れた昆虫を標本にする方法を教わったり、竹を使った水鉄砲やけん玉の作り方を教わりました。

参加者の方々は親子で協力しながら虫取り体験や工作など普段なかなか経験することのできない里山のあそびを楽しんでおられました。



## 8/25(土) 飯南町研修「安全技術作業講習会」

この講習会はチェーンソー使用方など林業の事故を防ぐ安全技術の普及啓発を目的としたものです。

講習会ではチェーンソーの目立て(研ぎ方)から丸太を使ったチェーンソーワーク実習、立木を伐木造材する実習等を行いました。

参加者の中には私と同じようにチェーンソーを初めて使うといった方から、ベテランの方まで様々でしたが、基礎から丁寧に教わることができました。普段チェーンソーを良く使う方でもメンテナンスの仕方など意外と知らないことも多かった様子でした。



## 9/9(日) 里山自然塾「里山で芸術の秋「ヒノキ和紙に押し花アートをトッピングした栞」と食欲の秋「竹焼き米粉ケーキ」づくり」

ヒノキの皮を使って和紙をすき、栞をつくりました。和紙はふるさと森林公園で採れた草花を押し花で飾りました。また竹筒を使って米粉ケーキを焼きました。どちらも身近な材料を使って作ったものですが、できあがりはとても素晴らしいものでした。

## 9/18(火) ツキノワグマ緩衝帯づくり「ツキノワグマと同じ時代を生きる幸せ」

出雲西高等学校の生徒と一緒にツキノワグマの緩衝帯づくりを行いました。クマは、ヤブの中に身を隠して移動する習性があるために明るい場所に身をさらすことを嫌う習性があります。竹林を整備し森林と人の生活圏との間にクマが出没しにくい空間をつくることでツキノワグマによる被害を減らし人とツキノワグマの共存の道を探るという取組を行いました。

生徒たちはネイチャーガイドからツキノワグマの生態や生物としての特徴についての講義を受けたあと、緩衝帯を作る作業を行いました。参加者からは「竹を切ったり竹林の整備など普段出来ないことを体験できて楽しかった」、「動物と人間の共存について深く考える事ができた」などの声があり、里山を身近に感じて、自然と共存することの大切さを実感するきっかけになったようでした。

③ 研修の感想

(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)

環境保全や自然保護を目的としたNPOの活動には何度か参加させていただくことができましたが、その中でももりふれ倶楽部の活動頻度と活動範囲の広さには驚かされました。

特に里山自然塾は何度も参加されているという方もおられるほど人気で、遊びを通して楽しみながら自然について学び考えることができるよう工夫がされていると感じました。

島根は自然豊かなところですが、身近にある自然ほど意識してみないとその価値や希少性に気づくことができません。自然との共存に向けて努力を続けることの大切さを、地道に伝え続けられるもりふれ倶楽部のみなさんの姿は島根の自然保護の取り組みを考えるうえで大変参考になるものでした。

終わりに、今回の研修では暖かく迎え入れてもらい、丁寧にご指導いただきましたもりふれ倶楽部の皆様にこころよりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成31年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。